

AOI

Group

会計編

上海便り 2009年4月号

【情報提供】 【編集/提供】 (株)葵ビジネスコンサルタンツ

* 上海葵 Office; 上海日経財務内

: 021-6473-6398 (日本語専用線)

* 東京本部; 横田税務会計事務所内

東京都大田区東馬込 1-12-12 横田会計ビル 2F

: 03-3775-1220 URL: <http://www.aoibc.com>

【トラブルの事前対応 /4】

今月は「会計人・会計業界」と「契約」に関してまとめました。

会計人の思考

21世紀でも、会計業界には未だに「共産主義時代」の国営企業意識が強く残っています

；日系法人で会計が上手く行かないのは、この会計に関する「コンセプトが「日本;資本主義」と「中国;共産主義」では大きく違っている」からになります。若い世代でも、会計の先生は国営企業時代の会計しか知りませんので、国際会計を教えているか、かなり疑問です。(国際会計 日本会計)

* 会計人にとって「**ボスは税務署**」になり、会社内では自分の地位を『**御目付役**』と自認しているので、総経理(社長)や董事長(投資家)の言う事や指示を無視して、従わない。；逆に「**なぜ従う必要があるのか??**」とも思っています

* 国営企業だと、**税金を多く納付する**「経営者」や「会計人」が優秀と判断されました。故に、

- ・ **節税を知らない!** 利益を多く出す。でも「自分が税金を支払」のは、大嫌い
- ・ **与信管理を知らない** 「P/L」をチェックするが、「B/S」の年間の流れ等を見ない
- ・ 「**支払予定表**」は存在するのか?? 故意か、過失か、「不渡小切手」がかなり多い

* 「**管理会計**」の目的や意味を知らないで、単純な『**技術**』だと思っています。そして、書店には山のように管理会計関連の書籍を積んで売っています

* 『**正しい2重帳簿**』を知らない! 2重帳簿の作成を「簡単だ」と思っています

；「2重帳簿」で決算申告しますか? と直ぐに尋ねてきます。その内容は、単なる数字を合わせで、不自然で、違和感が残る「2重帳簿」決算を行います。正確な、縦から見ても、横から見ても文句なしの「2重帳簿」の作成には、高度な会計・経営レベルが必要だと知りません

；上海で正しい「2重帳簿」を作成できる会計人には「**手取月給;3万~5万RMB**」は、覚悟してください。脱税金額よりも高額になるでしょう?

(単なる決算作成ですと「手取月給;3,000RMB」程度です)

- * 日本本社の経理や会計人が、中身を理解できる「会計ソフト」の導入する場合、「導入反対」の社員はそのためならば、**何でもします、何でもあります!**
 - ;拒否はもちろん、「法規の拡大解釈」や「自己都合・利益へ誘導」「政府の権威を利用」してでも導入阻止に動きます。 「手段の正当化」です
 - ;導入後、2~3ヶ月間以内で会計実務・中身が変わらない会計人には「国際会計」の実施は一生、不可能でしょう。 40才~50才台の会計人でも、直ぐ変わりました
- **経営者や営業担当者に知らせずに、取引先と交渉して「支払月日」を遅らし、「支払金額」を値切るのが、優秀な「会計人」と誤解しています。**
 - そのためか、小切手の「不渡」も比較的平気です
 - (不渡小切手を出しても、ペナルティーは罰金を支払うだけです。小切手の「取消」も可能です)

契約

- * 「日本語」契約書だけにサインします (もちろん、合併・取引先は嫌がる)
- * 中国語の定款や契約書の作成は、『信頼できる』弁護士に作成を依頼します
- * 契約とは、「合意内容の文章」程度と考えています
 - ;利益分配の時や、自社の利用価値が無くなると、裏切られて、騙されて、お金を取られて、『契約違反・廃棄』されると予想して、**契約書に「罰金」を記載して、契約違反に対する「反撃方法」も事前に用意します**
- * 「業務内容・品質」や「納期日」と「ペナルティー」を記載することは、当然の権利です。 **無記載だと、権利の放棄になります**
- * 可能ならば、契約書にも「最終の検品者」を明記して、**責任を明確にします**
- * 金銭契約に関しては、「金を貸すバカ!」&「金を返す大バカ」との中国の格言が、全てを表しています
 - (この格言が上海スタイルか、それとも中国全土でも通じるかは確認できていません)

(F:記)

OVTA アドバイザー